

大学による地方創生人材教育プログラム構築事業(COC+R) 中間評価結果

COC+R 大学名	岡山県立大学
事業名	「吉備の杜」創造戦略プロジェクトー雑草型人材育成を目指して

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・「吉備の杜」創造戦略プロジェクト推進本部会議の設置をはじめ、プロジェクト推進スタッフ体制整備、学内諸規程整備、協定締結、シンポジウムの開催等、事業が順調に進展している。
- ・事業実施の体制は、学長のリーダーシップを発揮したプロジェクトの最高意思決定機関から、外部評価や、課題解決に向けた改善案を立案する委員会、サテライトプログラム部会長会議、教育プログラム開発委員会など、事業の実現に向けて組織的な実施体制が構築され、学内での情報共有、意思決定ができる仕組みとなっている。
- ・教育カリキュラムの構築・実施については、地域産業の人材像を目指した教育プログラムが展開されている。
- ・各教育プログラムは、当初計画になかった科目「未来型プロジェクト」の新設や令和5年度には「持続可能な社会に生きる」も開設を予定しており、計画どおり実施されている。大学院クロスセクションにおいても、発見された課題に対し、「科目の増設」や「カテゴリー化」で対応方策を講じている。
- ・令和3年度、4年度の教育プログラムの実績は、設定目標、開設プログラム数、総受講者数、共に目標に対する実績を上回っている。

<改善を要する点>

- ・共通の目標以外の設定目標のうち、教育プログラム受講生のSDGs理解度に関しては、目標90%以上に対して57.2%の実績となっている。目標未達の分析を踏まえた理解度向上の取組計画もあることから、今後の進展に期待したい。